

平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	教育情報機器の整備・充実					継続			
コード	94	-	23	-	01	-	00	予算事業名	教育情報機器の整備・充実
担当部署	学校教育部	市立川越高等学校			予算事業コード	会計 10	款 10	項 04	目 01

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 無 法令による実施義務 義務ではない

基本目標(章)		根拠となる法令、条例等	なし
方向性(節)		個別計画等の名称	なし
施策			
細施策			

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	情報推進技術(IT)を活用した社会に対応できる生徒を育成する。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	授業で使用する生徒用パソコンのリース

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		17,758	16,274	16,887	14,984	15,210	
事業費	A	16,690	15,972	14,175	14,770	15,210	15,210
	B	98,960	98,960	99,880	106,360	106,360	99,880
総コスト(C=A+B)		115,650	114,932	114,055	121,130	121,570	115,090
正規職員(1年間の従事人数)		13.00人	13.00人	13.00人	14.00人	14.00人	13.00人
臨時職員(1年間の従事人数)		3.00人	3.00人	4.00人	3.00人	3.00人	4.00人
国県支出金	D	0	0	0	0	0	0
その他特定財源	E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担(=C-D-E)		115,650	114,932	114,055	121,130	121,570	115,090

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

成果	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	生徒1人あたりのパソコン台数	台	0.26	0.27	0.27	0.27	生徒1人あたりの授業で使用するパソコン設置台数
成果	生徒1人あたりのパソコン使用時間数	時間	4.52	4.57	4.59	4.58	生徒1人あたりの授業で使用するパソコン使用時間数
活動	教育用パソコン設置台数	台	225	225	225	225	授業に使用するパソコンの設置台数
活動	授業時間数	時間	3,850	3,850	3,850	3,850	情報教育の授業時間数
中心指標の考え方		本事業は、成果指標を中心に評価する。					
指標に基づく評価		本事業は、授業時間数もしくは生徒数が増減すればパソコンの設置台数の増減も検討しなければならない。現在は変化が無いので事業費の削減もできないが、平成24年度入学生から1クラスあたりの最大生徒数が減ったので、現在の2年生が卒業する2年後以降、リース切れのものから台数が減って更新予定である。					

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	課題はない
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	商業科・情報処理科のある県内公立高校でも、川越市とほぼ同じ台数のパソコンを使用している。県立高校等は複数校で一括に契約をしているので、1台当たりの単価は多少安価なようである。
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	授業に支障がでるため、廃止・縮小はできない。
(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	継続
教育効果が上がる授業を実施するため、今後も教育情報機器を整備する必要がある。 なお、検定3種以上1級合格者は7年連続で埼玉県トップクラスの合格率を維持している。	